

平成 20 年度 第 3 回「まちかどミーティング」概要

団 体 名	「報徳松寿会」
開催日時	平成 20 年 11 月 10 日(月) 午後 11 時 30 分 ~ 12 時 50 分
開催場所	ブナの森ふれあい伝承館 和室
出席者	「報徳松寿会」の皆さん 19 人(能代市:市長 他 5 人)
案 件	高齢者を元気にする市長講話 他
会議の概要	<p>(...「報徳松寿会」の皆さん ...市長 ...市各職員)</p> <p>・報徳松寿会...ニツ井町富根地区の老人クラブ。「松風荘」の花壇整備や山ツツジ植林、また社会福祉協議会と連携した各屋々の花の飾りなどの美化活動を継続して行っている。会員相互の親睦のための旅行もする。体も心も「健康」であることを目指して活動している。</p> <p>1 高齢者を元気にする市長講話</p> <p>現在、市の財政は厳しい状態であるが、義務的経費は増大しており、特に医療や介護など福祉的な経費の増加が著しい。マスコミなどでも「少子高齢化」「高齢化社会」と負の面が強調されがちだが、人生の先輩達の努力のおかげで、今の豊かで平和な時代があるのだから、現在の状況を逆手に取った地域おこし・まちおこしなどができないか考えたい。</p> <p>また、今、秋田県は島根県に次ぐ全国 2 番目の高齢化県。特に県北地区で顕著。今の秋田の姿が日本の 10 年後の姿といえる。日本の 10 年後に先鞭をつけることができるよう、行政と皆さんと一緒になって考えていきたい。</p> <p>「少子高齢化」の問題の一つは、15 ~ 60 歳の生産労働人口が減少し、地域経済が落ち込んでくることである。定年退職したものの、まだまだ元気な方などの経験豊富で良質な労働力が、生きがい・健康づくり、地域貢献にもなり、年金プラス の収入を得ることができるような施策ができないかと考えている。</p> <p>来年度から 2 つの施策を始めたい。</p> <p>1 つは「青空ディ・サービス」、地域の仲間と一緒に花や野菜を育て、収穫するというもの。広域から市に移管された「松風荘」とその周辺の畑を活用できないかと考えている。作業後には入浴などでくつろぐこともでき、「松風荘」の利用者増も見込むことができる。</p> <p>もう 1 つは、増えている荒廃農地を高齢者の生きがい対策や収入増のためにも活用できないかと考えている。</p> <p>ぜひ、人生の先輩である皆様がたに力を合わせて、地域の活性化につなげていきたい。健康に留意して、この地域に生まれ育ってよかったと思える地域づくりに力を貸してほしい。</p> <p>今、能代は大きく変わろうとしている。人口減少は、雇用の場がないことが一つの要因である。企業誘致にも努力しているが、「起業」が必要である。その足がかりにしたいのが「リサイクルポート」である。県の「県北エコタウン構想」として、「しっかりとしたリサイクルによる産業おこし」を市として推進しようと、国から能代港の「リサイクルポートの指定」を受けた(全国で 21 港)。これにより、さまざまな使い勝手のよい補助等を受けることができるようになる。例えば、来年、港に 2 億円程度をかけて倉庫を造ろうとしているが、1/3 の国の補助を受けることができる。</p>

大館・小坂にある同和鉱業という世界に冠たる会社が、現在は、携帯電話などの家電製品(都市鉱石ともいう)を分解、再精製して金・銀など 17 種類のレアメタルを再製している。このリサイクルの流れの中で市も貢献したいと考えており、船での大量輸送ができないかと模索している。今は汚染土壌の搬入が主である。船川・青森港からの搬入もあるが、地の利を活かし、能代港からの量を多くしていきたい。ヒト・モノ・お金が動けば、そこに新しい産業が生まれてくる。1年早く指定された酒田港(山形県)がその好例。今後の状況を計って、中間処理の工場や施設等若者が働けるような職場を用意していきたい。信念を持って当たれば、実現できると考えている。

2 廃食用油回収についての要望と生ごみ減少対策の施行推進について

「身近にできることで社会に貢献したい」と、会員が家庭の生ごみの減少と廃食用油回収の推進に取り組むつもりだ。

生ごみに関しては、段ボールコンポストに取り組みたいと考えている。

廃食用油回収については、現在の富根出張所 1カ所だけでなく、個々のごみ集積所ごとにポリタンクを配置(計 30 個程度)し、屋根やひさしをかけることはできないか、という意見があった。会には金がないため、何か智恵があったら教えてほしい。

今進めようとする街づくりの柱は「リサイクルポート」と「バイオスタウン構想」である。

生ごみ処理は、市内に「コンポスト見直し隊」などの団体があるので、必要に応じて勉強する機会は提供できる。

廃食用油は B D F (バイオディーゼルフUEL)の原材料となる。先日回収業者も中友商事(河戸川)に決まり、回収量の増加を図らなければならない。そのための努力が必要と考えている。屋根・ひさしなどについては、現地の状況等不明なので、後で見て相談したいと思う。

ごみ集積所を利用して廃食用油回収に協力したいという申し出は大変ありがたい。ごみ集積所に関しては、その設置使用者が管理するという原則で、全市には相当数ある。この地区だけに設置するという訳にもいかない。できる範囲内で協力はしたいが、提案された屋根等の措置も簡単にはいかない。従来どおり富根出張所に持ち込んでほしいが、一度現場を見て相談したい。

自分たちでできることを協力したいという気持ちは、本当にありがたい。例えば、空き缶のプルタブを集めて車椅子の寄附をしたり、ペットボトルのフタ 2 kg で未開発地の子供のワクチン 1 本分にするなど、金もかけず、街中の美化、国際貢献できる、そういうお金のかからない形で松寿会の皆様などに協力をお願いできないかと検討しているところである。その節はよろしくお願いしたい。

その他

- ・カラスのフンの害について、
 - ・今後の二ツ井地域の敬老式について
- などについて、意見が交わされました。